

123年いしずえの伝統を礎に、新たな歩みへ

小瀬高校は中高一貫教育校として躍進を続けています

歴史

明治32年	9月	小瀬村立小瀬農業補習学校として創立
明治40年	4月	小瀬村立小瀬農学校と改称
大正4年	10月	小瀬農学校体制定
大正9年	5月	茨城県小瀬農学校と改称
昭和17年	1月	茨城県立小瀬農学校と改称
昭和22年	4月	「小瀬農学校校歌」完成
昭和23年	4月	茨城県立小瀬高等学校誕生
昭和24年	4月	定時制新設
昭和35年	4月	別科廃止
昭和38年	4月	定員改正 生活科設置
昭和39年	1月	体育後援会発足
昭和39年	9月	ラグビー部関東大会出場
昭和41年	11月	体育館新築
昭和44年	6月	バドミントン部団体県優勝
昭和46年	8月	体操部全国大会第10位
昭和48年	1月	永久校舎へ移転
昭和51年	7月	農業クラブ(測量の部)全国大会出場
昭和52年	4月	共同宿泊所「敬和館」新築
昭和55年	3月	実験実習棟完成 格技場新築
昭和56年		野球部出場34年目で初勝利(3回戦進出)
昭和56年		小瀬高校振興連絡協議会発足
昭和57年		中学生一日体験入学(県内初の試み)
昭和58年	4月	生活科募集停止
昭和58年		バレーボール部関東大会出場
昭和59年		バレーボール部関東大会準優勝
昭和60年		バレーボール部関東大会出場
昭和61年		バレーボール部・体操部関東大会出場
平成元年	4月	農業科を普通科に改編
平成6年	8月	生徒の海外研修開始(オーストラリア)
平成9年	4月	コース制開始
平成11年	5月	弓道場新築
平成11年	9月	創立100周年記念式典
平成15年	4月	中高一貫単位制開始
平成17年	3月	プール新設
平成23年	4月	学年制開始
平成29年	4月	福祉コースデュアルシステム導入
令和元年	6月	普通教室エアコン設置
	10月	創立120周年記念式典
令和4年	3月	体育館エアコン設置

少人数制度による丁寧な指導 一人一人に合ったコース選択で 将来の目標を実現できる

生徒会長
岡崎 諒 (明峰中学校出身)



本校は県内唯一の連携型中高一貫教育校であり、県内で6番目に古い歴史を持つ伝統校です。「特別進学」「教養」「福祉」の3つのコースを選択でき、自分の進みたい道に合わせたカリキュラムで3年間学ぶことができます。

小瀬高校の進路実績は、18年連続就職内定100%を達成しており、進学面でも数多くの実績を残しています。全校生徒数が少ないからこそ、先生方は生徒一人一人に対して丁寧に指導して下さいます。

また、小瀬高校には文化祭や体育祭をはじめとした学校行事がたくさんあります。その中には、常陸大宮市校物部会の方々の協力により行われる校物収穫体験や、地域のゴルフ場を活用したゴルフ学習など、他校ではできない貴重な体験が数多く詰まっています。連携校である明峰中学校との交流も盛んです。中学生のみならず、小瀬高校で充実した学校生活を送ってみませんか。

小瀬高校の 5つの特徴

1 | 中高一貫教育校

本校は茨城県内で唯一の連携型中高一貫教育校です。常陸大宮市立明峰中学校とカリキュラムや行事などで連携・交流を深めています。

中高一貫教育校ですが、他の中学校からも自由に受検できます。

2 | 小規模だからできる教育

小規模であることは本校の良さでもあります。全校生徒数が少ないからこそ教職員と生徒の距離は近く、生徒間においても先輩後輩の垣根を越え、互いに話しやすい人間関係が形成されます。小規模であるからこそ、一人一人が納得のいくまで安心して学べる環境があなたを待っています。

3 | 地域とともに学ぶ

問題解決的な活動が発展的に繰り返される「探究的な学習」を、3年間通して系統的に学ぶことができます。地域の方々に協力いただき、地元産産を体験し、魅力を再発見することで、地域に根ざした主体的な生き方を考えます。教職員は学習の伴走者として寄り添います。

4 | 活発な部活動

学校生活に活きをもたらし部活も盛んに行われています。運動部7つ、文化部3つ活動しています。みなさんもぜひ加入して、充実した高校生活を送りましょう。

5 | 充実した進路指導

みなさんの興味・関心や、進路希望に対応するため「特別進学」「教養」「福祉」の3コースがあり、選択により学習します。また、個に応じた進路実現のため、放課後等に課外や面接指導を丁寧に行っております。